

R-18

郷音

恋

は

郷音恋は
恋は郷音



最近：私は髪をよく洗うようになった

だけど...

シャンプーは
やっぱり
目に染みて
苦手だ

司令官の二人きり
なる前は：キレイ
で
ありたいから：

汚いなんて
思われたく
ないから...：

...あ...

しん

あ

ん

ん

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ





もしや...

む：やっぱり髪はとかさないとかダメかな...

やっぱり手にまだ変なおいがちよつと残ってる...

もう一度だけ手洗いしておこう...

司令官との約束...少し遅れてるのに...

結局だいつぶって
時間をつかって
しまった...

いつもの...そう
任務後の楽しみ...

夜...時々...
司令官と
ふたりきりで...

司令官...もう
始めてるかな...

だめだ...ちゃんと
気を張らないと...

コホッ

入るよ
司令官...

コッ
コッ



司令官
もう飲んでるね

スマン
待ちくたびれて
うっかり...

おっ!
ひびきつ
今日も遊びに
来てくれたのか

司令官:
居るかな?



あああああ
はあああ



...まあ...ほれ
今日取り寄せたヤツ
すげえウマイんだよ

そんないかに
かい...?



口当たりまろやか
ワセも無い...
それにスゴく
私の好きな味...

なにこの
お酒...

うしゅう



じゃ
改めて…
カンパイなっ

響の好きな味
やっとなんか
選ぶの苦労したぞ

うん…
乾杯…

司令官…っ
これ…すごく
美味しい…



任務の後は
司令官の晩酌に
こっそり交ざって

私の事や
第六の事や
任務の事…

ささいな事を
お酒を飲みながら
話す時間が楽しみだ

あと…それに…



こうやって…

触れてもらったり
優しくされるのが
心地が良くて…好きだ

…うん



響と呑むのは
楽しいな

あ…

お疲れさん

ん



なんだい
急にっ!

ひびきっ!
すまんっ!

ひびん

あー!!!

あら

いいぞ
のめのめ...

ちよろ...

司令官
今日はもう一杯
もらっていい?



あとさ

響...これは一応さ
少し気になるから
聞かせて欲しい



犯罪的だっ...!!
旨すぎるっ...!!

涙が出るっ...!!

そのな...響が
来るがあまりに
遅いから...わりい

つい我慢出来ずに
ほとんど中身
飲んじゃった...

...別にいいよ
美味しかったから...



今日も
晩酌前に風呂に
入ったんだろ?

お酒好きなお前が
約束の晩酌にも
遅れてくるし...

もしかして...
風呂場でなにか
あったのか?



な…
何でもないよ
司令官…

髪を乾かすのに
時間がかかったんだ
だから…なんでも…

何でもないよ

何でもないんだ

司令官…

何でも…
なく…ないよ…

胸がギュッととして
苦しいよ…

こうして
二人でいる時間は…

胸が張りさけそうな
くらいに切ないんだ…
司令官…



そっか…
いやあ…
いいんだ

んん

わるい…響
ちよつと
飲み過ぎた

何でもないよ
司令官…

水…一杯だけ
取りに行つて
くれないか？

うん…

司令官…

私は…私にとって…
司令官は…大事な…
好きな人だよ…

サウナ

サウナ

サウナ

サウナ

サウナ



すぐ戻るよ
司令官…

サウナ



うん…何でも…
何でもない…



おぉおぉお

も...もう寝てるのかい...?
早い...

もう...ほんと自由な人だよ司令官は...

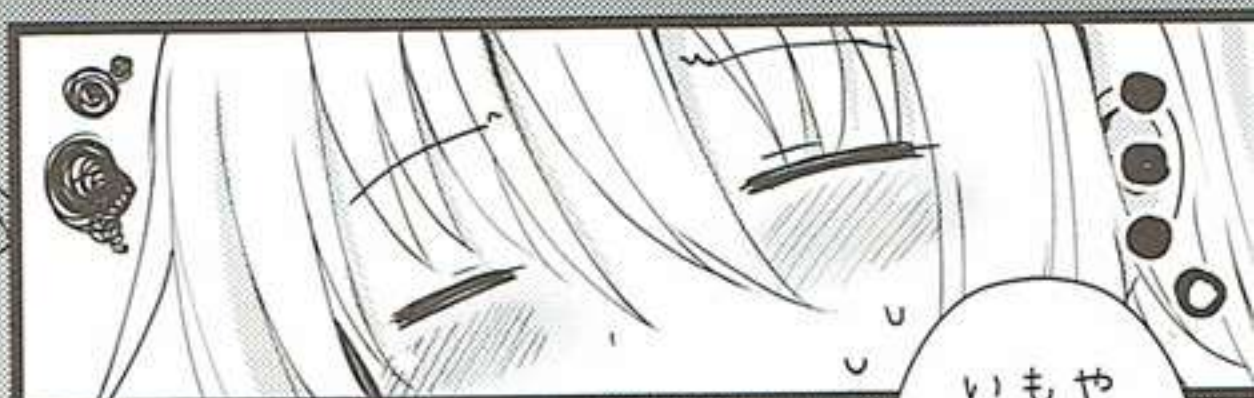


司令官っ私...本当はっ!

こんななら苦しいならもう...本当の事...いっその事...



ひゃっ...



やっぱり...まだ...もう少し先でいいかな...

ほら...司令官こんな所で寝ちゃダメだよ

ほら...身体起こして...起き...っ...

キッ



司令官の…
おっきく
なってる…?

おふろで
シたばっか
なの…っ

ドキドキして
お腹の下…
ムズムズする…

司令官…ごめ
すこしだけ…
触らせてね…



司令官…すごい
おちんちんが
熱くなってるね…

少し触るだけで
終わらせるから
起きないでね…

あ…っ
ん…っ

私は…最低な
ズルい女の子だ

さっき好きだっ
言おうとしたの
欲に負けて…



少しだけ…
だから…っ

司令官の
おちんちん...
すごいにおい...

あっ...いま
びくって...

大きくて...
一生懸命に
脈打ってる...



おちんちんの
におい...
へんなの...



少しだけ...
少しだけなの...



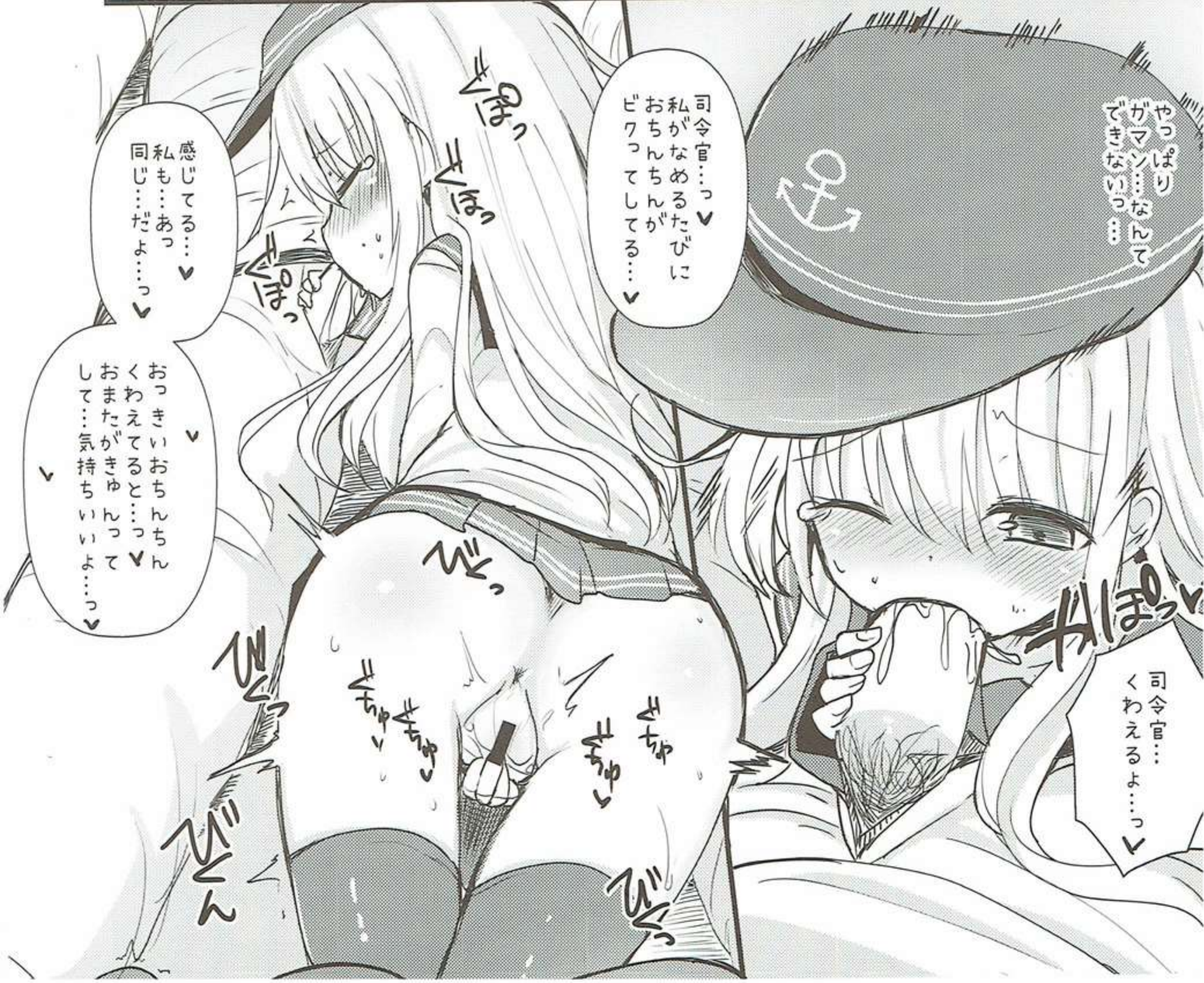
やっぱり
ガマン...なとて
できないっ...

司令官...っ
私かなめるたびに
おちんちんが
ビクッしてる...

感じてる...
私も...あっ
同じ...だよ...

おっきいおちんちん
くわえてると...っ
おまたがきゅって
して...気持ちいい...

司令官...
くわえるよ...





大好きな司令官に対してこんな事して...

なぜだろうか...

身体は少しだけ満足してるのに...

心が全然満足しないよ

はぁ...

はぁ...



ごめん...っ
きれいな...かん...

わたしは...
こんな...
恥ずかしいこと...

私は...司令官が
好きなものに...
そんな事も...
ろくに...言えない...

ズルい子だ...



もう...私は...
司令官の事...

ひびきつ
そ...そう気に
病むなよ...

司令官...

悪いな...
実は半分くらい
起きてた...

嘘寝で驚かせて
やろうと
思ったのに...

こんなことに
なるなんて
思ってたなかった

でも...

響の話は
全部聞かせて
もらった

ポッポッ

ポッポッ

ポッポッ



司令官：こんな私の事嫌いかい？

馬鹿：ならないよ



響：そんな顔：俺に初めて見せてくれたな

スツ...

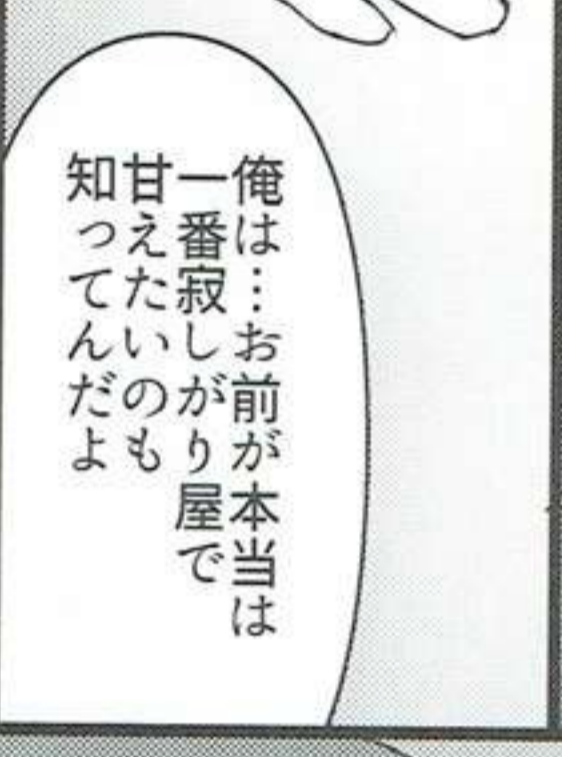


ごめん... 司令官... わたしは... うああ... あ...

わーっ! 泣くからもう泣くんじやない!



ダテに響の司令官じゃない... むしろ俺は...



俺は：お前が本当は一番寂しいのよ 甘えたいのよ 知ってんだよ



そのさ... お前と一緒にいるのが一番楽しいから

夜には晩酌に呼んでんだよ

うん...

ほら：泣き止めキレイな顔がぐしゃぐしゃじゃねえかよ...

俺は：響の事が一番好きだよ

響：こんなタイミングで言うのもアレだがな

...



でもよ...

ごめんな

お前を泣かすなんか
俺もまだまだ
ダメな司令官だな

んっ...
そんな事
ないよ



はっ
はっ
司令官...は



私の一番...
ステキな人だよ♡



お前を...いや
一番大好きな響を
抱かせてくれ

そっか...安心した
なあ...響...これは
俺からのお願いだは

...うん♡
いいよ司令官...♡





あっ...司令官の
おちんちん...
ねじこまれてく...



響の中...
すっげえ熱い...

司令官は
どうだい...
私のナカ...



響...?
苦しいか

気持ちいいよ...
こんな... あっ
感じたことないっ

出して... いいよっ
司令官...
中に... ナカにっ
たくさん出して...

ごめん... 俺...
もう... 出そうかも...

はあ…っ♡
司令官…聞いて
ほしいんだ…♡

んっ…？

私のこと…ずっと
大事にしてくれる
司令官のことを…♡

胸が痛くなるくらい
想ってたよ…♡

司令官…私は…
司令官のことが…
大好きだ…♡

…俺も同じだ
愛してるよ響

うん…
愛してるよ
司令官…♡

はあ…っ♡

はあ…っ♡

はあ…っ♡

はあ…っ♡

はあ…っ♡

はあ…っ♡

んっ♡

んっ…♡

んっ♡



あれから…私達は…

おつ響く！
待ってたぞ！

響の好きなお酒
頼んどいたから
ほら！呑もう！

そういえば：響は
すっかり表情も
柔らかくなったな

可愛いねっ♪

司令官

司令官の前だけだよ
二人きりの時が
一番落ち着くんだ

あとそれ本人に
怒られるよ

はははっ
こうして毎日：響の
明るい顔見られると
すげえ嬉しいよ



司令官：今日は…
その：時間あるかい？
また抱いて欲しいな…

いいぞ
何回でも
抱いてやる

キンッ

響の為なら
いくらでも…な

じゃ：今日の
ケツコン1ヶ月目
記念日に…

乾杯ッ
乾杯ッ


あとがき

4月の皐月ちゃん本『皐月 愛愛愛』から1ヶ月経ちました。今回は響ちゃん本です。お風呂のあと絶対いいにおい。響ちゃんは普段かた一い子だから表情を程よく崩してくれる明るい司令官と一緒にだと凄く幸せになるんじゃないかなと思います。

次回のイベントは5月末のインテックス大阪『我、夜戦に突入す！4』です。次回は暁ちゃん(新作)か呂500ちゃん(続編)になるかもです。大体いつも通り純愛になる予定です。まだ詳しく未定ですが、気長に新作をお待ち頂けると嬉しいです。

奥付

サークル名：めんてい処 作者：めんていやくな(筆 やま先生)
連絡先：mentei897@gmail.com
発行日：2016/05/08
印刷所：プリペラ印刷様(第二版)
※この本の無断転載、複製、ネット上への違法アップロード
未成年者への譲渡または閲覧を禁止します。



めんていどくろ

Mentei Dokoro Book 001